



コスモス(あわじ花さじき)

わたしたちのまちの 景況レポート No. 31

2022 年 7～9 月期実績・2022 年 10～12 月期見通し

今日も 楽しい おつきあい



淡路信用金庫

調査概要

- 調査時期 : 2022 年 7～9 月期実績・2022 年 10～12 月期見通し
- 調査方法 : 当金庫の営業店職員による「聴取り」調査
- 調査企業数 : 665 社

製 造 業	150 社	卸 売 業	98 社	小 売 業	113 社
サービス業	115 社	建 設 業	140 社	不 動 産 業	49 社
- 調査地区 : 当金庫事業地区（洲本市、淡路市、南あわじ市、明石市、神戸市、芦屋市、西宮市、
 尼崎市、加古郡稲美町、加古郡播磨町、加古川市、高砂市、三木市）
- 分析方法 : D. I.（「良い」「増加」「上昇」の回答割合－「悪い」「減少」「下降」の回答割合）
 ※不変部分を除き、「良い」「悪い」のどちらの力がどれだけ強いかを調べる方法

指標	内容	プラス	マイナス
業況	調査時点での回答企業の業況「良い」－「悪い」	良い＞悪い	良い＜悪い
売上額	前期（四半期）と比較した売上「増加」－「減少」	増加＞減少	増加＜減少
収益	前期（四半期）と比較した収益「増加」－「減少」	増加＞減少	増加＜減少
販売価格	前期（四半期）と比較した販売価格「上昇」－「下降」	上昇＞下降	上昇＜下降
仕入価格	前期（四半期）と比較した仕入価格「上昇」－「下降」	上昇＞下降	上昇＜下降
人手過不足	調査回答時点での人手「過剰」－「不足」	過剰＞不足	過剰＜不足
資金繰り	前期（四半期）と比較した資金繰り「楽」－「苦」	楽＞苦	楽＜苦

設備投資企業割合 設備投資実施の有無

例

人手不足▲50とは

人手	(1)過剰 (2)やや過剰 (3)適正 (4)やや不足 (5)不足
----	-----------------------------------

↓ 回答数を集計し、回答割合を算出

	(1)過剰	(2)やや過剰	(3)適正	(4)やや不足	(5)不足	合計
回答数	35	35	210	280	140	700
回答割合	5.0%	5.0%	30.0%	40.0%	20.0%	100.0%

$$\text{人手不足} = \underbrace{10}_{(1)+(2)} - \underbrace{60}_{(4)+(5)} = \text{▲}50$$

【問合せ先】

淡路信用金庫 業務部

担当：^{もみのき}縦木、^{みくら}三倉

TEL：0120-22-1020

業種別地区別天気図

地区 業種	全事業地区 (665先)			淡路地区 (383先)			神明地区 (282先)		
時期	2022年 4～6月 (前期)	2022年 7～9月 (今期)	2022年 10～12月 (見通し)	2022年 4～6月 (前期)	2022年 7～9月 (今期)	2022年 10～12月 (見通し)	2022年 4～6月 (前期)	2022年 7～9月 (今期)	2022年 10～12月 (見通し)
総合									
製造業									
卸売業									
小売業									
サービス業									
建設業									
不動産業									

好調← →低調

全業種

前期

今期

来期

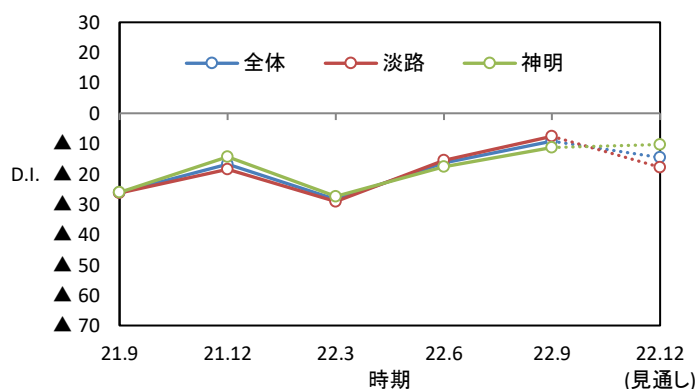


今期（2022年7～9月期）の業況判断D.I.は▲9.2となり、前期（2022年4～6月期）▲16.4に比べ7.2ポイント改善したが、依然としてマイナスの水準である。

項目別では、売上額は6.2（前期2.7）と3.5ポイント改善、収益もマイナス幅が前期比4.1ポイント改善し▲6.2となった。販売価格では24.8（前期25.0）とほぼ横這い、仕入価格が57.6（前期62.9）と5.3ポイント減少している。

人手不足感についても▲21.7（前期▲21.6）とほぼ横這い、資金繰りについては▲6.2（前期▲6.6）とわずかながら0.4ポイント改善した。来期（2022年10～12月期）の業況判断D.I.については▲14.6と5.4ポイントの悪化を見込んでいる。他の項目でも、売上額・販売価格など悪化する見通しとなっている。

業況判断D.I.の推移（地区別）



	22年6月 (前期)	22年9月 (今期)	22年12月 (見通し)
業況	-16.4	-9.2	-14.6
売上額(前期比)	2.7	6.2	-4.7
収益(前期比)	-10.3	-6.2	-13.5
販売価格(前期比)	25.0	24.8	18.2
仕入価格(前期比)	62.9	57.6	43.6
人手過不足(過剰-不足)	-21.6	-21.7	-20.3
資金繰り(楽-苦)	-6.6	-6.2	-5.4
設備投資実施企業割合(%)	15.9	17.9	15.1

製造業

前期



今期



来期



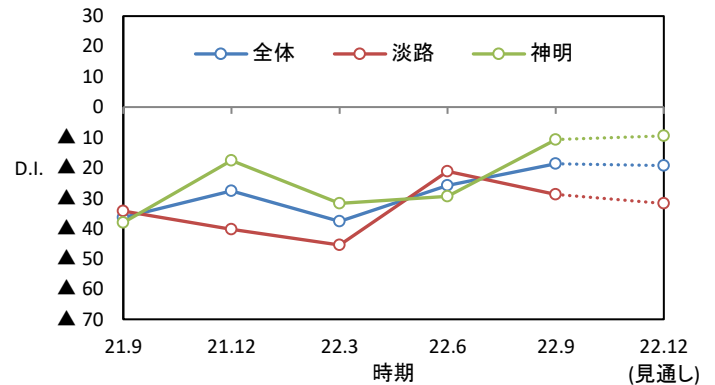
今期の業況判断 D.I. は▲18.7 (前期▲25.8) となり 7.1 ㊦マイナス幅が縮小となった。地区別の業況は、淡路地区▲28.8(前期▲21.2)と 7.6 ㊦の悪化、神明地区▲10.7(前期▲29.4)と 18.7 ㊦の大幅な改善となった。来期については業況が▲19.3 と 0.6 ㊦悪化の見通しで、売上額・収益なども悪化する見込みとなっている。

お客様の声

売上高はコロナ禍前までには回復していないものの、前年同期比では増加しており、受注回復の兆しが見え始めている。原材料の仕入価格が高騰している中、販売価格への転嫁について取引先との交渉を重ね、収益を確保できる体制作りに取り組んでいる。(淡路)

コロナ禍による影響は落ち着いてきたが、原材料の価格上昇による仕入先からの値上げ要請があり、利益を圧迫している。当面は販売価格の見直し、経費削減に注力しながら利益確保することが必要。(神明)

業況判断 D.I. の推移 (地区別)



(D.I.)

	22年6月 (前期)	22年9月 (今期)	22年12月 (見通し)
業況	-25.8	-18.7	-19.3
売上額(前期比)	-3.3	0.0	-4.7
収益(前期比)	-12.6	-11.3	-14.7
販売価格(前期比)	15.9	26.7	17.3
仕入価格(前期比)	63.6	62.0	40.7
人手過不足(過剰-不足)	-15.2	-20.0	-20.0
資金繰り(楽-苦)	-11.3	-14.0	-13.3
設備投資実施企業割合(%)	17.2	16.0	15.4

卸売業

前期



今期



来期



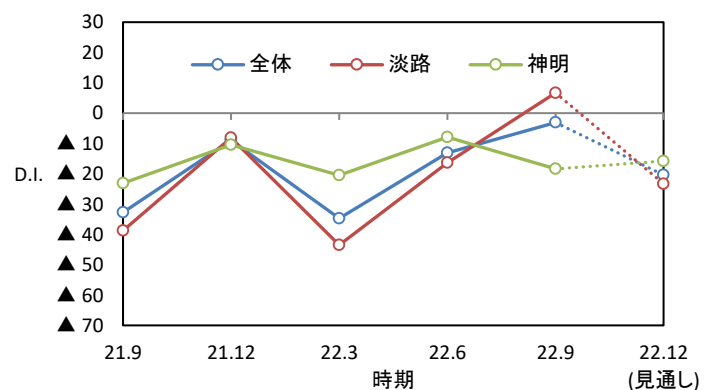
今期の業況判断 D.I. は▲3.1 (前期▲13.1) となり 10.0 ㊦改善となった。地区別の業況は、淡路地区 6.7(前期▲16.4)と 23.1 ㊦の大幅な改善、神明地区は▲18.4(前期▲7.9)と 10.5 ㊦の悪化となった。来期は 17.3 ㊦悪化の▲20.4 と、再び低水準となる見通しである。また、売上額▲10.2、収益▲14.3 と共に今期より悪化する予想となっている。

お客様の声

仕入価格上昇に伴い、販売価格も値上げを行っている。一番厳しいのはガソリン代の上昇である。配送ルートの見直しを行い、効率化を図っていく。(淡路)

機械化を進める企業が増えており、機械導入の問い合わせも増加しているが、仕入価格の上昇、半導体不足の影響もあり、製品の納期調整を要請する場面が増えている。(神明)

業況判断 D.I. の推移 (地区別)



(D.I.)

	22年6月 (前期)	22年9月 (今期)	22年12月 (見通し)
業況	-13.1	-3.1	-20.4
売上額(前期比)	25.3	9.2	-10.2
収益(前期比)	3.0	4.1	-14.3
販売価格(前期比)	49.5	32.7	26.5
仕入価格(前期比)	68.7	49.0	37.8
人手過不足(過剰-不足)	-14.1	-4.1	-3.1
資金繰り(楽-苦)	-6.1	-8.2	-9.2
設備投資実施企業割合(%)	14.1	22.4	17.3

小売業

前期



今期



来期



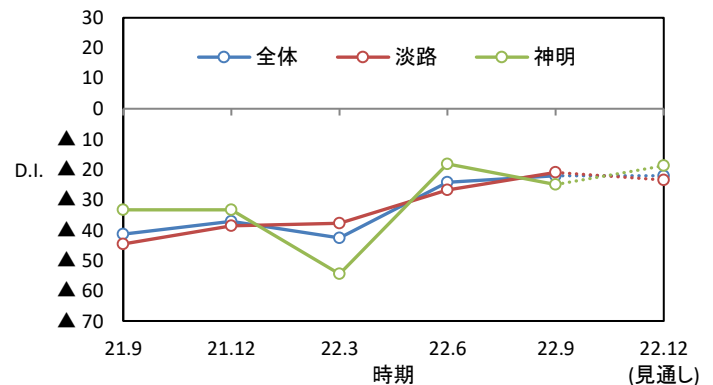
今期の業況判断 D. I. は▲22.1(前期▲24.3)となり 2.2 ㊦改善となった。地区別では、淡路地区▲21.0(前期▲26.8)と 5.8 ㊦改善、神明地区▲25.0(前期▲18.2)では 6.8 ㊦の悪化となった。来期の業況は、▲22.1 と横這いの見通しで、低水準にとどまる状況が続く見込みであるが、売上額・収益などはわずかで改善する見通しである。

お客様の声

食品全般の仕入価格が上昇しているが、すぐには販売価格に転嫁できない為、収益性の低下が懸念される。比較的価格が安定している商品の仕入量を増やすなど、来店客の増加を図る為に努力している。(淡路)

ロシアによるウクライナへの侵攻が長引く影響により、原料価格高騰や供給不足などで業況は不安定な状態である。価格転嫁により売上は増加しているものの、利幅は縮小している。(神明)

業況判断 D. I. の推移 (地区別)



(D.I.)

	22年6月 (前期)	22年9月 (今期)	22年12月 (見通し)
業況	-24.3	-22.1	-22.1
売上額(前期比)	-2.6	-3.5	-2.7
収益(前期比)	-21.7	-14.2	-11.5
販売価格(前期比)	36.5	33.6	30.1
仕入価格(前期比)	59.1	54.9	52.2
人手過不足(過剰-不足)	-10.4	-14.2	-12.4
資金繰り(楽-苦)	-14.8	-8.8	-6.2
設備投資実施企業割合(%)	11.3	12.4	7.1

サービス業

前期



今期



来期



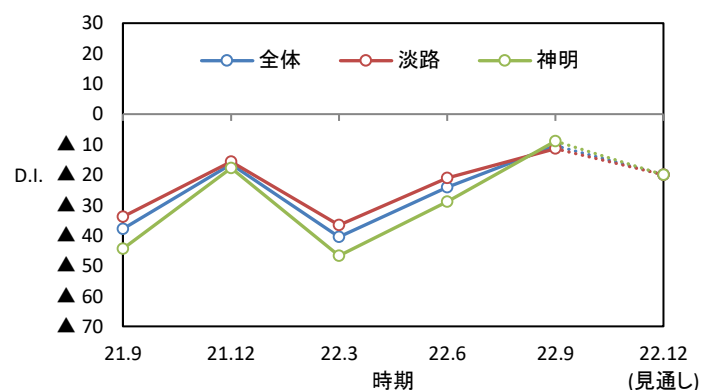
今期の業況判断 D. I. は▲10.4(前期▲24.1)となり 13.7 ㊦改善となった。地区別の業況は、淡路地区▲11.4(前期▲21.1)、神明地区は▲8.9(前期▲28.9)と共に改善するものの、材料費、燃料費の高騰などの影響もあり、来期の業況は▲20.0 と 9.6 ㊦悪化する見通しである。徐々に改善傾向にはあるが、依然として先行きは不透明である。

お客様の声

コロナ禍ではあるが今夏は行動制限がなく、宿泊客が増加したことにより売上は伸びた。以前から問題となっている人員の確保、そして材料値上げへの対応が今後の課題である。(淡路)

酒類、食料品材料の運搬がメインで、コロナ禍の影響により、受注量が一時的に減少したが、徐々に回復傾向となっている。原油高を鑑みた既存先との価格交渉、並びに新ルート・新規取引先の獲得を進める事で売上高と収益性の確保に注力している。(神明)

業況判断 D. I. の推移 (地区別)



(D.I.)

	22年6月 (前期)	22年9月 (今期)	22年12月 (見通し)
業況	-24.1	-10.4	-20.0
売上額(前期比)	1.7	13.9	-8.7
収益(前期比)	-0.9	5.2	-13.0
販売価格(前期比)	19.0	20.0	13.0
仕入価格(前期比)	58.6	54.8	40.9
人手過不足(過剰-不足)	-29.3	-27.8	-23.5
資金繰り(楽-苦)	-8.6	-10.4	-7.8
設備投資実施企業割合(%)	18.1	19.1	22.6

建設業

前期

今期

来期

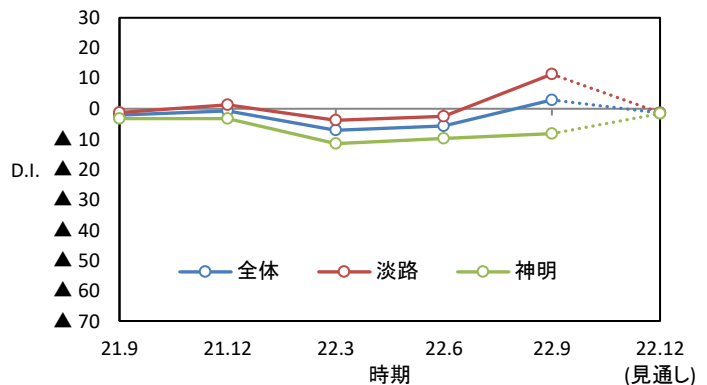
今期の業況判断 D. I. は 2.9(前期▲5.7)と 8.6 ㊦の改善となった。地区別の業況は、淡路地区は 11.4(前期▲2.5)と 13.9 ㊦改善、神明地区は▲8.2(前期▲9.8)と 1.6 ㊦改善となった。来期は▲1.4と 4.3 ㊦悪化する見通しである。人手過不足については▲41.4と依然として慢性的な人手不足の状態が続いている。

お客様の声

主に一般個人住宅を手掛けており、島内への移住者からのリフォームや新築工事が確保でき、受注は安定しているものの建築資材及び燃料費の高騰が影響し、工期の見直し並びに遅延が発生し、利益を圧迫している。(淡路)

工事の受注量はコロナ禍以前まで戻りつつある。悪天候による工事の遅れも一部あるが、工期を遵守し、取引先との良好な関係を維持している。従業員の高齢化が進んでおり、若手の人材を求めている。(神明)

業況判断 D. I. の推移 (地区別)



(D.I.)

	22年6月 (前期)	22年6月 (今期)	22年9月 (見通し)
業況	-5.7	2.9	-1.4
売上額(前期比)	-5.0	7.9	0.0
収益(前期比)	-20.6	-14.3	-17.1
販売価格(前期比)	17.0	15.0	10.0
仕入価格(前期比)	79.4	74.3	55.7
人手過不足(過剰-不足)	-40.4	-41.4	-41.0
資金繰り(楽-苦)	2.1	5.0	3.6
設備投資実施企業割合(%)	17.7	20.0	13.7

不動産業

前期

今期

来期

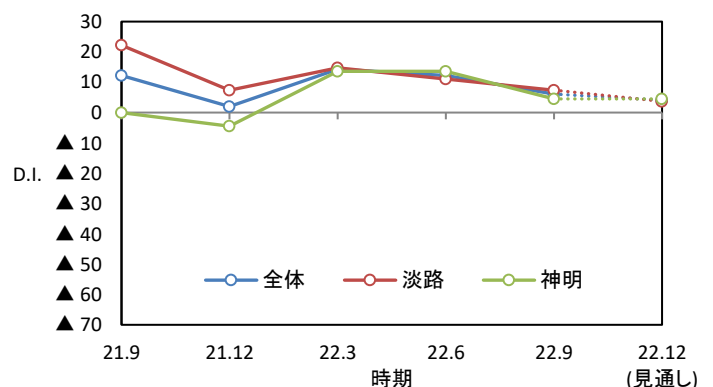
今期の業況判断 D. I. は 6.1(前期 12.2)と 6.1 ㊦悪化となった。地区別の業況は、淡路地区は 7.4(前期 11.1)と 3.7 ㊦悪化、神明地区も 4.5(前期 13.6)と 9.1 ㊦悪化。両地区共に前期より悪化した。プラスの水準を維持している。来期の見通しは 2.0 ㊦悪化の 4.1 となっている。

お客様の声

新型コロナウイルスの影響により、相談件数がなかなか増えず、売上が伸び悩んでいる。今後は今まで以上に Web サイト等を利用した宣伝活動に注力し、販売網の拡充を図りたい。(淡路)

物件が少ないため、業者間での競争が激しく地価はやや上昇傾向にあり、商品物件の確保が課題となっている。資材・造成費も高騰傾向で、先行きも不透明な面もあることから商品土地の取得は慎重に検討していく方針である。(神明)

業況判断 D. I. の推移 (地区別)

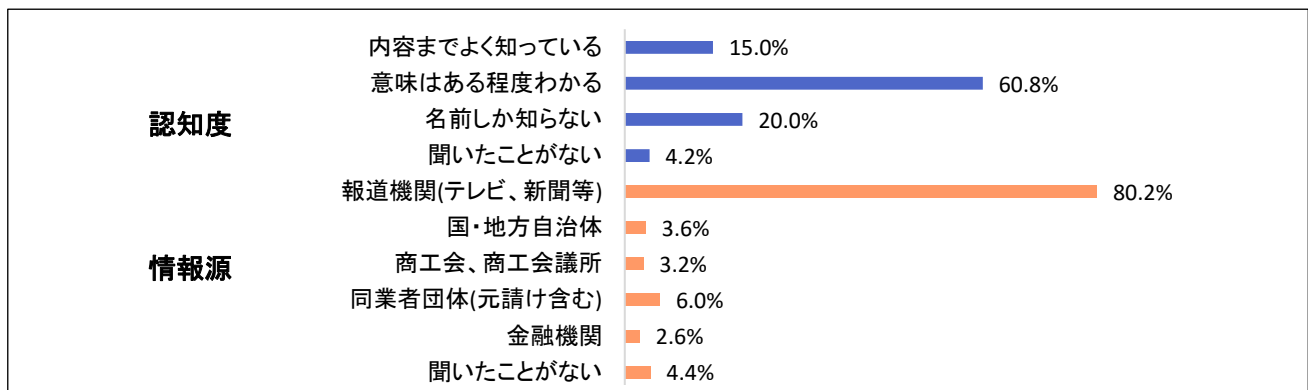


(D.I.)

	22年6月 (前期)	22年6月 (今期)	22年9月 (見通し)
業況	12.2	6.1	4.1
売上額(前期比)	12.2	18.4	-2.0
収益(前期比)	4.1	4.1	-4.1
販売価格(前期比)	14.3	22.4	12.2
仕入価格(前期比)	20.4	26.5	16.3
人手過不足(過剰-不足)	-10.2	-8.2	-8.2
資金繰り(楽-苦)	6.1	6.1	8.2

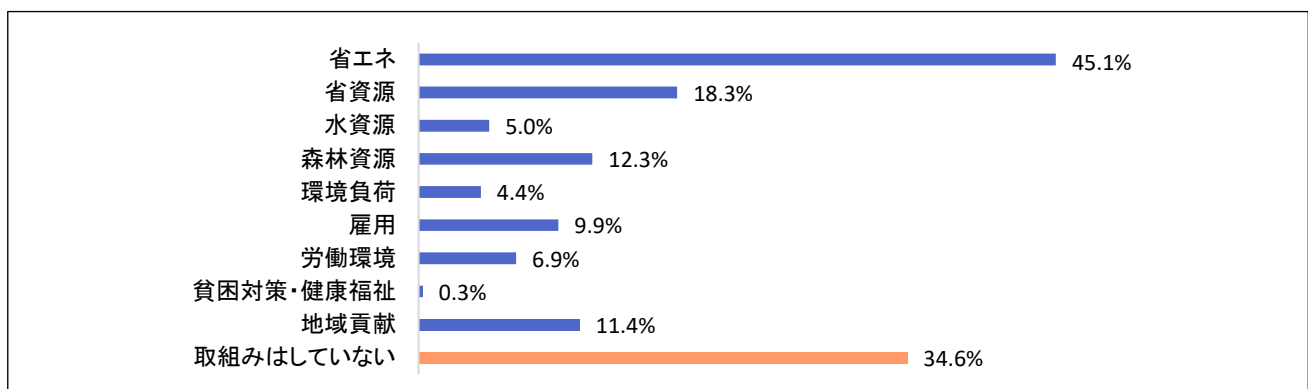
問1 SDGs についての認知度と情報源

SDGs についての認知度は、「内容までよく知っている」が 15.0%、「意味はある程度わかる」が 60.8%となり、合計で 75.8%の企業に認知が広がっていた。一方で「名前しか知らない」が 20.0%、「聞いたことがない」が 4.2%あった。SDGs の情報源については、「報道機関(テレビ、新聞等)」が 80.2%と大半を占めた。以下、「同業者団体(元請け含む)」6.0%、「国・地方自治体」3.6%、「商工会、商工会議所」3.2%、「金融機関」2.6%と続き、「聞いたことがない」との回答は 4.4%であった。



問2 SDGs の理念と一致する取組の実行状況

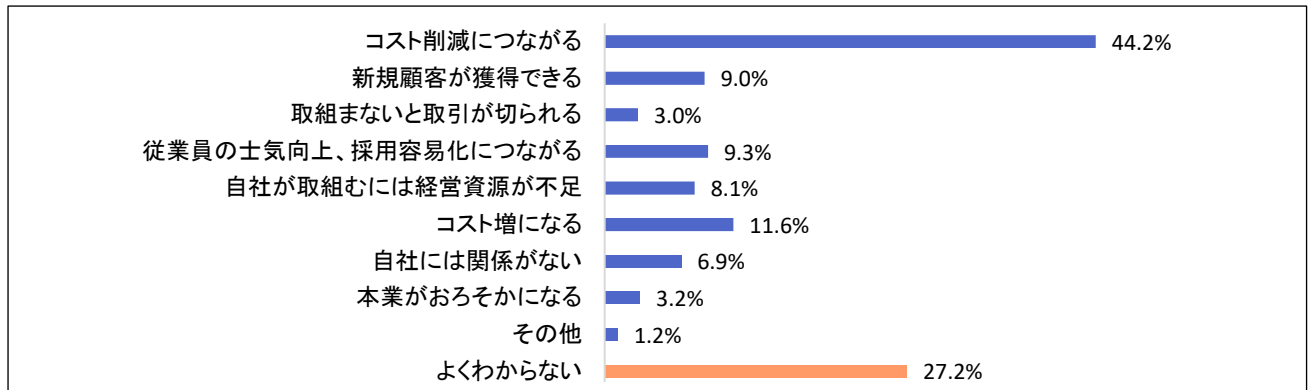
SDGs の理念と一致する取組の実行状況については、「省エネ」が 45.1%と最も多かった。次に、「省資源」が 18.3%で、省エネや省資源への取組が多くなっている。以下、「森林資源」12.3%、「地域貢献」11.4%、「雇用」9.9%と続いた。対して、「取組みはしていない」との回答は 34.6%あった。業種別では、ほとんどの業種で「省エネ」、「省資源」への取組が見られた。



問3 企業が SDGs に取組むことへの印象

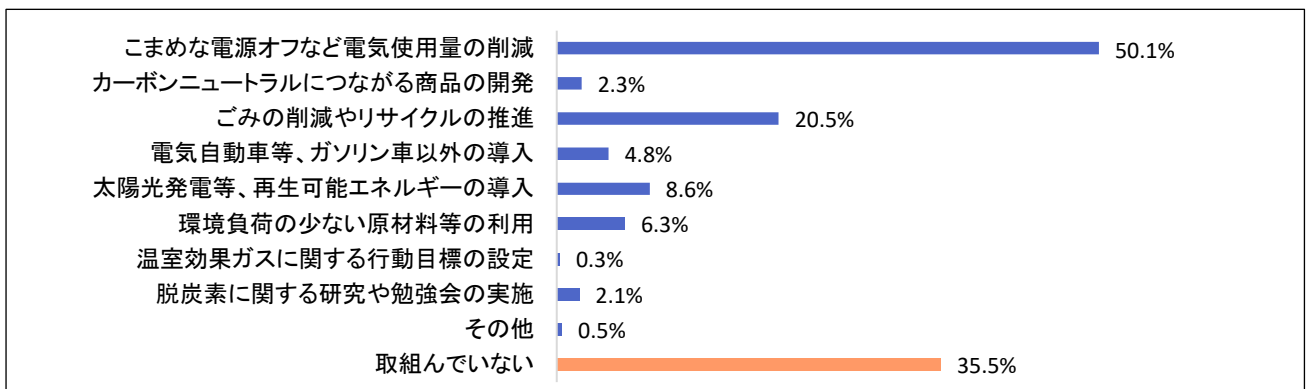
企業が SDGs に取組むことへの印象は、「コスト削減につながる」が 44.2%と最も多く、SDGs に関連して、省エネや省資源を通じたコスト削減に取り組んでいる様子が窺える。一方で、「コスト増になる」が 11.6%となり、コストがかかると考えている企業も一定数あった。

以下、「従業員の士気向上、採用容易化につながる」が 9.3%、「新規顧客が獲得できる」が 9.0%、「自社が取組むには経営資源が不足」が 8.1%であった。対して、「よくわからない」は 27.2%であった。規模の小さい企業で「よくわからない」との回答が比較的多く見られた。



問4 カーボンニュートラルについて取り組んでいる施策

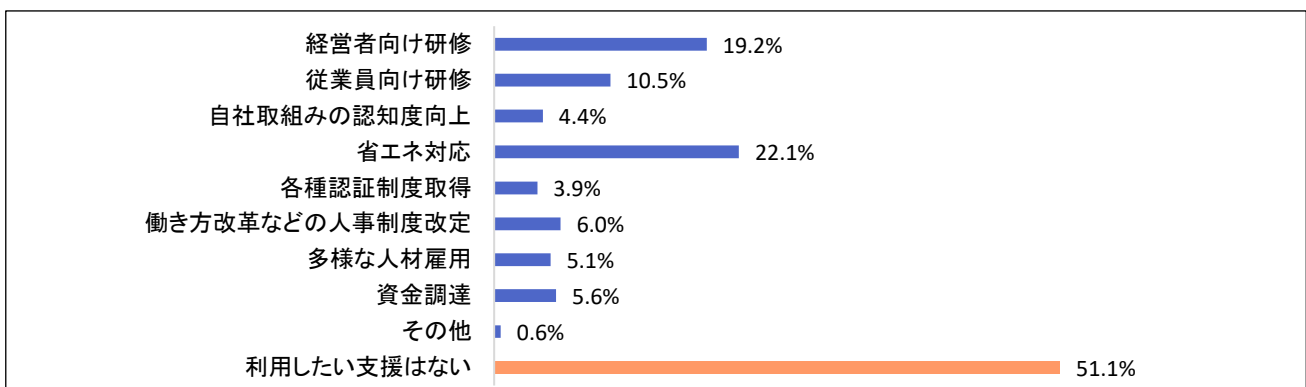
カーボンニュートラルについて取り組んでいる施策は、「こまめな電源オフなど電気使用量の削減」が50.1%と最も多い結果となった。次いで「ごみの削減やリサイクルの推進」が20.5%、「太陽光発電等、再生可能エネルギーの導入」が8.6%、「環境負荷の少ない原材料等の利用」が6.3%、「電気自動車等、ガソリン車以外の導入」が4.8%で続いた。対して、「取り組んでいない」は35.5%あった。



問5 SDGsについての外部機関(公的、民間問わず)からのサポートの期待

SDGsについての外部機関からのサポートの期待については、「省エネ対応」が22.1%と最も多く、以下「経営者向け研修」が19.2%、「従業員向け研修」が10.5%、「働き方改革などの人事制度改定」が6.0%、「資金調達」が5.6%で続いた。省エネ対応や研修など幅広い分野でサポートを期待していることとなった。

対して、「利用したい支援はない」は51.1%と、過半数以上の企業が回答した。



わたしたちのまちの元気企業 ②⑦



池のほとりに建つ隠れ家的古民家カフェ、ふくカフェは2011年12月10日オープンしました。ふくカフェでは、厳選したこだわりの珈琲豆を自家焙煎してペーパードリップで抽出し、煎りたて、挽き立ての香りの良いコーヒーが味わえます。また当店自慢の淡路島産卵&牛乳をたっぷり使った自家製焼き立てワッフルや、淡路島産プレミアム玉ねぎを1食につき1個使ったこだわりカレーを取り揃えております。

当店1番人気のベリーベリーワッフルは、イチゴ、ブルーベリーなど様々なフルーツをはじめ、外カリ中フワの本格ベルギーワッフルに生クリームと甘酸っぱい自家製ベリーソースをかけています。甘味と酸味でくせになる味です。チョコバナナは、苦みを抑えたチョコレートソースとバナナ、生クリームとバニラアイスがのっています。熱々のワッフルとチョコレートソース、バニラアイスの相性が抜群です。シンプルなプレーンから、たっぷりのフルーツ、たっぷりの生クリームなどワッフルの種類が10種類以上ございます。



2020年にふくカフェ敷地内にBASE COFFEEをオープン。珈琲焙煎の世界大会でも使用されたプロバットの焙煎機で自家焙煎を行い、スペシャルティー珈琲豆を販売しています。

2021年にSCAJ（日本スペシャルティー珈琲協会）のローストマスターズチームチャレンジで優勝、審査委員賞とオーディエンス賞の2冠を受賞しました。ふくカフェでもBASE COFFEEで焙煎した豆を使用しています。



2021年に同じくふくカフェ敷地内に予約優先の花屋（ラシュラン）をオープン。ドライフラワーを主に販売しており、ブーケ等のご予約を承っております。

兵庫県南あわじ市倭文長田 224 ☎0799-53-6170

ふくカフェ	営業時間	10:00~18:00 (Lo 17:00)	定休日	木曜日
BASE COFFEE	営業時間	12:00~18:00	定休日	木曜日
rassurants	営業時間	10:00~16:00	定休日	不定休

わたしたちのマチの元気企業 ②⑧



ユーザーの信頼を得るのに必要なのは、単に優れた技術だけではありません。技術をユーザーの求める製品に生かしていくというユーザーに順応した企業スピリットと、それを実現するための設備、組織、そしてそれぞれの人の高い意識があって信頼”を育て上げることができるのです。私たちは、ユーザー企業から本当に信頼をいただくべく、ダイカスト製品の分野で、「もっと上」をめざし続けます。

当社の特色

徹底した品質管理のもと、常に次代を支える製品を。

当社は、溶かしたアルミ合金や亜鉛合金を金型に流し込んで製品を製造するダイカスト製品の会社です。製造する製品は多種多様であり、色々な装置に組み込まれる重要な部品となります。

ダイカスト製品分野では、これまで、基本になる金型設計、鑄造から加工、仕上げまでの多くの部分で、人間の経験、五感が重要視され、それが製品に少なからぬ影響を与えて来ました。しかし、ダイカスト製品への品質・精度要求が急速に高くなっている中、安定した製品供給には、コンピューター制御による自動化は避けることができません。当社は、3D-CAD による設計、製造工程の自動化、インターネットによる受注など、受注から製造、納品まであらゆる部分にコンピュータシステムを導入し、高度化を続けるダイカスト製品の品質ニーズに万全の対応で備えています。もちろん、当社では、この体制に人間の経験と五感も融合。そして設計から製造、表面処理、組み立てまで一貫したシステムでユーザーのニーズをキャッチするプロデュース力も蓄えていきたいと考えています。

商号 甲南ダイカスト工業株式会社

会社設立 1955年8月1日

代表者 代表取締役社長 伊藤 佳宏

従業員数 36名(2022年9月時点)

生産能力 アルミダイカスト 50トン/月

亜鉛ダイカスト 20トン/月

●本社

〒657-0843

神戸市灘区大石北町7-19

電話 078-881-3939

FAX 078-881-7581

●北神工場

〒651-1622

神戸市北区淡河町神田1022

電話 078-958-0321

FAX 078-958-0327



< 本社 >



< 北神工場 >